

1. 略歴

- 1983年3月 東京大学文学部国史学専修課程卒業
1985年3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程国史学専門課程修了
1987年3月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程国史学専門課程中退
1987年4月 山梨大学教育学部講師（歴史学）
1990年9月 山梨大学教育学部助教授（歴史学）
1994年11月 博士（文学）
1997年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2010年7月 東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本古代史

b 研究課題

古代天皇制、日唐律令制比較研究、撰関期国家の研究

c 主要業績

(1) 著書

- 共著、山中裕編、『御堂関白記全註釈 御堂御記抄・長徳4年・長保元・2年』、思文閣出版、2010.3
単著、大津透、『天皇の歴史01 神話から歴史へ』、講談社、2010.11
編著、大津透、『律令制研究入門』、名著刊行会、2011.12
共著、山中裕編、『歴史のなかの源氏物語』、思文閣出版、2011.12

(2) 論文

- 大津透ほか、「2009年の歴史学界—回顧と展望— 日本史古代」、『史学雑誌』、119編5号、35-71頁、2010.5
Toru OTSU、「The History of Research on the Ancient Ritsuryo System and the Comparative Study of the Ritsuryo System in Recent Years」、『ACTA ASIATICA』、no.99、pp.81-108、2010.8

(3) 書評

- 上島享、『日本中世社会の形成と王権』、名古屋大学出版会、大津透、『日本歴史』、763号、94-97頁、2011.12
荒川正晴、『ユーラシアの交通・交易と唐帝国』、名古屋大学出版会、大津透、『史学雑誌』、121編3号、79-86頁、2012.3

(4) 学会発表

- 国内、大津透、「日本古代における「公」について」、史学会大会公開シンポジウム「歴史の中の公と私」、東京大学文学部、2011.11.5

(5) 啓蒙

- 大津透、「『日本の歴史』から『天皇の歴史』へ」、『本』、2011年1月号、2010.12

(6) 会議主催（チェア他）

- 国際、「第55回国際東方学者会議」、チェア、シンポジウム「日中文化交流史の諸問題—古代・中世を中心に—」、日本教育会館、2010.5.21

3. 主な社会活動

(1) 学会

- 国内、日本歴史学会、理事、2010.7～
国内、史学会、理事、2011.5～
国内、東方学会、理事、2009.9～、東方学編集委員、2012.1～